



しゃきょう

だより

しゃきょう
社協は社会福祉協議会の略称です。
みなさん「しゃきょう」と呼んでください。

〈4月号のテーマ〉
第四次地域福祉活動計画
『つたえよう』

平成30年4月号

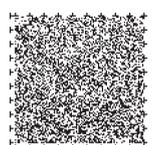
vol. 156



我が事・丸ごとの地域づくりを
すすめるために
「ふだんの ぐらしの しあわせ」を
子どもから大人まで
地域の方々と一緒に考えていきましょう。



▲山形市立南沼原小学校4年生 福祉出前講座



誰もが安心して暮らせるまちづくり

社会福祉法人
山形市社会福祉協議会

山形市社協「声だより」
FM76.2 ラジオモンスター 毎週日曜午前10時15分～放送中

〒990-0832 山形市城西町二丁目2番22号
TEL. 645-8061 FAX. 645-9236
<https://www.yamagatashishakyo.or.jp>
ホームページ・ブログ更新中

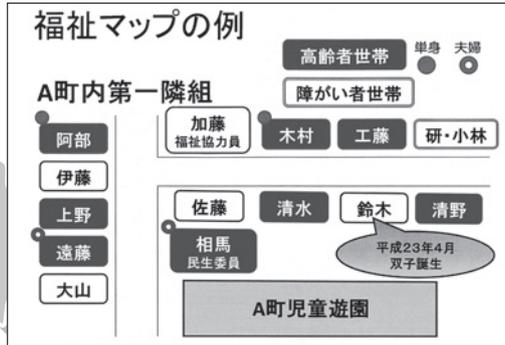
1 課題解決のための 仕組みをつくろう

- ① 生活課題の共有・解決の推進
- ② 福祉関係者同士の情報共有の推進
 - ★三者懇談会
 - ★地域福祉推進会議



2 住民による 支えあい活動をつくろう

- ① 福祉協力員活動の充実
- ② 住民支えあい隊・ちょっとした支援の推進
- ③ 身近な地域福祉状況の把握
- ④ 新たな支えあい活動の検討
 - ★福祉(防災)マップの作成
 - ★地域福祉活動サポーターの育成



基本目標

3

つくろう (活動・拠点)

わたし・わたしたちは、生活の中で困っていることを話しあい、課題を解決するための活動やしくみをつくりまします。

[平成28年度～平成32年度]

やまがた まちづくり

3 地域福祉活動の 基盤をつくろう

我が事・丸ごとの
地域づくり

- ① 地区社協組織・基盤強化
- ② 地域福祉活動の拠点の整備
- ③ 地域福祉活動推進役の充実・強化
 - ★福祉まるごと相談員
(コミュニティソーシャルワーカー)の配置
 - ★生活支援コーディネーターの配置

1 地域と相談機関が 連携してささえよう

- ① 総合相談体制の構築
- ② 各種相談支援センターとの連携強化
 - ★福祉まるごと相談窓口の設置
 - ★相談支援センター合同会議の開催

福祉まるごと
相談窓口



基本目標

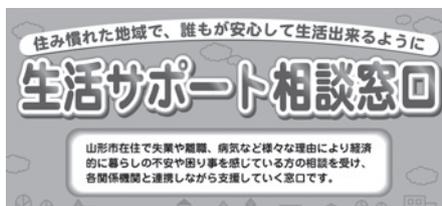
4

ささえよう (相談・支援)

わたし・わたしたちは、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくために、専門機関と連携しひとりひとりの暮らしをささえます。

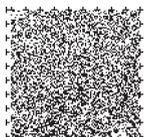
2 みんなで生活困窮や 孤立している方をささえよう

- ① 生活困窮世帯への支援強化
 - ★生活サポート相談窓口の設置
- ② 失業者への生活支援の推進
- ③ ひきこもり等の防止対策の検討
- ④ 早期発見・早期解決のための仕組みづくりの検討



3 権利を譲り安心した生活を ささえよう

- ① 権利擁護の推進
- ② 子ども・高齢者・障がい者等への虐待防止の推進
 - ★市民後見人の養成



基本目標

1

つたえよう (広報・啓発)

わたし・わたしたちは、ひとりひとりに見えるように地域福祉活動をつたえます。

1 福祉情報をつたえよう

- ① 福祉広報の充実
- ② 福祉活動の見える化の推進
 - ★しゃきょうだよりの充実
 - ★地区社協広報誌の発行支援
 - ★インターネットやラジオ等を活用した広報の充実



▲4・7・10・1月発行



▲地区社協だより



▲ラジオFM76.2
毎週(日)10:15~
毎月第2(水)9:30~
放送中



2 福祉の学びをつたえよう

- ① 健康・介護予防への意識啓発
- ② 認知症や障がいの理解の推進
- ③ 福祉学習の推進
 - ★協働を考えるつどいの開催

3 地域福祉の取り組みをつたえよう

- ① シニア世代の地域参加の拡大・充実
- ② 地域福祉リーダーの育成
 - ★福祉学校の開催



私たちに
おまかせ下さい!



3年目に突入!!! 第四次地域福祉活動計画

ふれあい 福祉文化の

福祉文化とは...

助け合い・支えあう福祉の心が人々の生活に溶け込み、根つき、それが文化となって受け継がれていくという願いが込められています。

誰もが安心
福祉のまち・やま
みんなを取り

1 住民同士がつながろう

- ① つながりづくりの場の促進
- ② 世代間交流の推進
- ③ 学校・子ども・地域の連携促進
- ④ 障がい児・者と地域の交流・活動の推進
 - ★ふれあいいいききサロンの充実



2 福祉施設・団体・企業が地域とつながろう

- ① 福祉施設等と連携促進
- ② NPO団体・企業との連携促進
- ③ 社会福祉法人等の地域貢献活動の促進

基本目標

2

つながろう (協働・連携)

わたし・わたしたちは、住民同士・施設団体・企業などと協働して地域福祉活動をすすめるために互いにつながります。

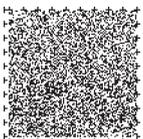
3 ボランティア活動を通して地域とつながろう

- ① 地域の支えあい・助けあいのボランティア活動の推進
- ② 目的別ボランティアの人材育成
 - ★地域ボランティアセンターの検討



4 災害に備えてつながろう

- ▶ 災害ボランティアセンター
設置・運営・研修



推進モデル事業 開始しました

- 市内30地区それぞれと協力して、住民に身近な地域での居場所・活動拠点をつくり、住民からの困りごとに対応する相談体制の整備を目指します。
- 市社協の福祉まるごと相談員や生活支援コーディネーターが連携・協働し地域での取り組みをサポートします。
- 生活困窮、高齢、障がい分野などの複数事業を受託する市社協内の総合相談体制を整備し、市・社協・関係機関が連携した総合的な支援体制を進めます。



ゴミ出し支援や
除雪支援など
ちょっとした支えあいで
安心して生活



▲若者の地域貢献活動



若者も
地域のために
役立ちたい!!

地域のために
なにかやってみたい人の
ためのボランティア講座



▲担い手養成

おとなりの
おばあちゃん
足が悪いから
お手伝い



社会福祉法人の
地域貢献活動と協力して
高齢者などの
買い物や外出の
お手伝い



▲買い物・外出支援



▲こども食堂



▲中高生ボランティア

地域の事業所も
一丸となって活動



▲地域の福祉関係事業所等の
連絡会

生活支援コーディネーター

- 日常生活圏域を13名で担当。
①地域の困りごと、②今ある支えあい活動、
③人材を把握し、地域の方々と一緒に
支援体制をつくります。



生活支援
コーディネーター

地域の中の
「困ったなあ」と
「やってみてもいいなあ」を
つなぎます。

福祉まるごと相談員

市社協に5名配置。
複合的な課題・「制度のはざま」の課題に対応。
様々な制度や社会資源を活用し、また、制度と
制度をつなぐ役割。
1名は市役所にも席を構
えています。

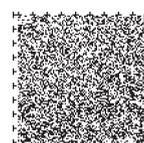


福祉まるごと相談窓口

市社協内にある複数事業(高齢・障がい・生活
困窮)の窓口を1つにし、総合相談体制の推進。



◀相談窓口



携
ト

携

平成29年10月より

我が事・丸ごと地域づくり

～活発な地域福祉活動と「まるごと」相談を組み合わせた総合的な支援体制～

住民の困りごとなどの早期発見・早期対応をさらに進めていくために、活動拠点の整備、相談体制・支えあいのしくみを身近な地域の中で充実させていこうというものです。

住民に身近な地域での取り組み



▲サロン活動

サロン活動が始まり20年。
今ではお茶飲みにとどまらず、
地域の情報や困りごとをキャッチ。



▲百歳体操



居場所・活動拠点設置

誰でも気軽に立ち寄れる、
集える居場所。
身近なところで何でも相談。
地域で解決。

街灯が消えたから
交換してけろー
あそこの道は小学生が歩くのは
ちょっと心配だな

地域の課題をみんなで共有。
我が事として捉え、
解決に向けてどんなことが
できるか協議。

見守りや支援が
必要な世帯の状況を把握し、
日常的な支援や緊急時の
体制について話し合い。
早期発見・対応へ。



▶ 民生委員児童委員や
福祉協力員による
見守り・訪問活動



▲地域福祉推進会議



▲三者懇談会

市全体としての取り組み

さまざまな縦割りの制度をまるごとへ



連
携

連
携

平成30年度

ボランティア講座 受講生募集

お問合せ・申し込み先

山形市社会福祉協議会
ボランティアセンター

●TEL:645-9233 ●FAX:645-9236
月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

平成30年度 山形市手話ボランティア養成講座 受講生募集

手話で日常会話ができるまでの技術習得を目指します。また、障がい者の生活を知り、交流を通して理解を深め、ボランティア活動につながることを目的としています。

- 期 間** 平成30年5月23日(水)～
平成31年3月6日(水)
毎週水曜日 午後7時～午後9時
全40回講座
- 会 場** 山形市総合福祉センター
3階会議研修室1(山形市城西町二丁目2-22)
- 対 象 者** 山形市近郊に在住で初めて手話を学ぶ方
- 募集人数** 30名(先着順)
- 参加費** 8,240円(受講料・テキスト代含む)
- 申込み** 5月2日(水)午後5時まで電話で
ボランティアセンターにご連絡ください。



第32回 ボランティアスクール ～傾聴講座～

ボランティアって何??から始まる入門編。
地域の高齢者や障がい者等の話し相手として、どんな言葉をかければ相手の気持ちを引き出すことができるのか。色々なコミュニケーション手法を学びます。講座を通してボランティア活動に参加するきっかけを作りましょう。

- 期 間** 平成30年5月30日(水)～
平成30年8月1日(水)
午前9時30分～午前11時30分
全12回講座
- 会 場** 山形市総合福祉センター
3階会議研修室1(山形市城西町二丁目2-22)
- 対 象 者** 山形市在住でボランティアに関心のある方
- 募集人数** 30名(先着順)
- 参加費** 1,000円(ボランティア保険、資料代等)
- 申込み** 5月10日(木)午後5時まで電話で
ボランティアセンターにご連絡ください。

平成30年度 「やすらぎの里農園」利用者募集

山形市内にお住いの方々に施設内農園を開放し、農作業を通じて入所者と交流、健康増進を目的とします。



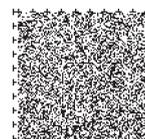
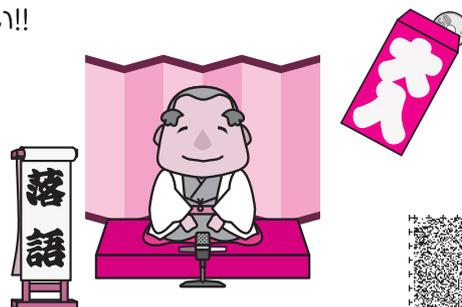
- 利用期間** 平成30年5月1日(火)～
平成30年12月31日(月)
- 農 園** ケアタウンやすらぎの里金井敷地内
- 対 象** 山形市内にお住まいの方
- 区画面積** 約10坪(20区画)
- 利用料** 無料(年1回耕します)
- 受付日** 平成30年4月12日(木)・13日(金)
(午前8時30分～午後5時30分)
- 申込方法** 申込用紙にご記入いただき、やすらぎの里金井の窓口で受付いたします。
- 問合せ先** ケアタウンやすらぎの里金井
山形市内表東1番地
☎681-5711(寒河江・増川)

特技ボランティア養成講座 落語を学び 笑い与健康を届けよう!! ～芸人への道編～ 開講

2月に16名の受講生と共にスタートさせたこの講座。早いもので2か月が過ぎました。山形落語愛好協会さんのご指導の下、この4月、芸人への道を歩み始めました。

今年の秋のデビューをめざし、各々が自主稽古をしながら頑張っています。

ぜひ、いきいきサロンや敬老会、地区の催し物の際にはお声掛けください!!



地域での活動紹介

金井地区

吉野宿町内会 いきいきサロン
祝！創立20周年！！

平成9年度から活動を開始し、開催回数は延べ285回で、総参加者数は5,608人にも上りました。

立ち上げのきっかけは、当時地区福祉関係役員になられた方が初めて定例会に出席された際、そこで聞いた要援護者の見守り訪問活動や支援について感銘を受け、「吉野宿福祉環境づくり会」として発足されたものです。それから20年の月日が流れ、地域の方々の憩いの場となりました。お住まいの方はぜひご参加ください。



千歳地区

新たな通いの場ができました。



向陽園北部支援センターのグループホームつばさのリビングを会場として、平成30年1月より百歳体操が始まりました。

向陽園さんの「地域の方々に向陽園のことをもっと知っていただきたい」との声と、千歳地区さんの「歩いて通える身近な場所で百歳体操をしたい」という思いがマッチングして実現しました。

千歳地区の中で、長町5区・6区・7区がお近くの町内であり、百歳体操の運営を区長・民生委員児童委員・福祉協力員のみなさんが当番制で担っています。



世話役の
皆さんが
機材の確認中



参加された住民の方より「歩いて通えるところで体操したりみんなとおしゃべりできること楽しみに待っていました!!」との喜びの声もありました。

体操の後には持ち込んだマイボトルの飲み物を飲みながらおしゃべりも楽しんでいます。

南沼原地区

あかねヶ丘3 いきいきサロン
西くるりんバスでのお出掛けサロン♪

運転免許を返納した後、どうやって出掛けよう…、町内にバスが通っているけど乗ったことがない…という住民の声から、あかねヶ丘3いきいきサロンでは「ベニちゃんバス(西くるりん)」に乗ってのお出掛けサロンを実施しました。目的地でのお茶会ではスイーツに舌鼓を打ちながら、市企画調整課(ベニちゃんバス担当者)よりバス運行についてのご説明をいただき、その後バスに乗っての感想を話し合いました。「乗り方が分かったので今後も活用していきたい」「駐車場の心配がないので楽」「今度孫と一緒に乗ってみたい!」「お出掛けサロンは新鮮で楽しかった!」という声が聞かれました。その後、帰りのバス時刻まで各々買い物や自由時間を楽しみました。

これからも南沼原地区では高齢者の移動手段についての課題に取り組んでいきます。



寄付者紹介

やさしいきもちを
ありがとう

みなさんからのご厚志に対して、心より厚く御礼申し上げます。ご寄付につきましては、平成29年12月1日から平成30年2月28日までの分を掲載いたします。(敬称略・順不同)

山形市社会福祉基金

● 宗教法人真如苑
● ファームドウ(株)食の駅山形蔵王店

山形市善意銀行

● 現金預託
● 若草スポーツクラブ
● 真宗大谷派山形教会

● 物資・労力
● スーパー1円劇場山形店
● 株式会社ニラク吉原店

● 山形県船商生活衛生同業組合
● 居酒屋 銀次郎

● 山形市平十地区老人クラブ連合会女性部
● 東日本高速道路 株式会社

● モイスティーンサロン ルビナス
● 宗教法人真如苑山形支部

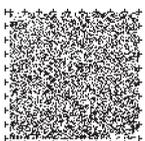
● 高宮 智聖
● 梅本 順一

● 舟越 芳子
● 匿名

● 山形市社協新規会員紹介

● 賛助会員

● 山形エコクリエイション(株)
● からだ元気治療院山形中央店





「皆さんの『暮らしの声』をいただきまして、その一部を紹介いたします。」

あなたの身近にある『福祉』

- 笑顔がまぶしい交流の姿がありがたいです。声を掛け合うことで、お互い健康の事、日々の事を知ること、安心を得ることができ、ホッとします。(50代女性)
- 毎年雪はきに南高生が来てくれて感謝。その子が載っていて喜ばしいです。年離れた私達には優しく、勇ましい男の子たち。感謝の心がこぼれます。(80代女性)
- 各地区での支えあいの輪がこんなに広がっているのを知りませんでした。(70代男性)
- 町内のおじいさん達が月に一回資源回収をしてくれています。(10代男性)
- 昔からよく聞かれた言葉「お互い様」の心が、とても大事なんだと改めて思いました。町内の人への挨拶が大事だと思っています。子ども達にも「すこ」と言ってきたことです。(50代女性)
- 町内の方々が仲良く、三世代をわらわらしているのを楽しんでいます。みんなで支えあっている気持ちです。(70代女性)

ちがうところはどこ？

右と左の絵で5つのちがうところをさがしてね！



ちがうところはどこ？ 1月号 (vol.155) 答え

- ①愛ちゃんのリボン ②雪だるまのバケツ
- ③雪だるまのボタン ④星の数
- ⑤氷のもよう



暮らしの声 特別編

あの時の学生さんありがとう!!

12月の終わりの頃、雪がたくさん降った翌日、買い物帰り、我が家まであと200mくらいの所で、つい足を取られ仰向けに転んでしまいました。

通りがかった大学生らしき人(男性1,女性2)が私を助けてくれて、そのうちの1人(男性)が車を取りに行って私を自宅まで送って下さいました。私は嬉しくて嬉しくてお礼もそこそこに名前を聞かすじまいです。

本当にあの時の学生さんありがとう!!これまで生きてこんな嬉しい体験は初めてです。おかげさまで「ケガ」もしないで助かりました。ありがとう、ありがとう。この書面でお礼を申し上げます。(80代 女性)

クイズを答えて Present プレゼント!

山形市総合福祉センター
「かすみが温泉」
利用券(4名分)
抽選で20名様

○に当てはまる文字を入れてください。
ヒントは表紙をよくみてね

クイズ: 「○○○○・○○○の地域づくり」

●応募方法 / ハガキにクイズの答えと必要事項を記入し、「福祉のまちづくり第一係」までお送りください。当選は発表をもってかえさせていただきます。

●宛先 / 〒990-0832 山形市城西町二丁目 2-22
社会福祉法人 山形市社会福祉協議会

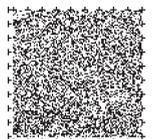
「福祉のまちづくり第一係」あて

●締切 / 平成 30 年 4 月 30 日 (月) (当日消印有効)

- ①キーワード ②住所 ③氏名 ④年齢・性別 ⑤電話番号
- ⑥暮らしの声『私が感じる(ふ)だんの(く)らしの(し)あわせ』
- ⑦「しゃきょうだより」の感想



1月号 (Vol.155) クイズの答え
『お互い様の心』



愛ちゃんと希望くん。

社協(しゃきょう)は社会福祉協議会の略称です。この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で年4回、山形市社協から福祉情報をお届けしています。次回は7月号です。